

学校名 肝付町立岸良学園

項 目	活動内容等	
1 活動内容等	<p>校区内にある豊かな自然を生かした緑化活動や校区の景観保全事業をはじめ環境教育を推進している。なかでもウミガメ保護活動は旧岸良小学校時代から25年の歴史を誇る活動で、PTAや関係機関と連携した特色ある活動を展開している。教育活動に特色ある教科「ウミガメ科」を開設し、かごしま水族館と連携協定を結んだ活動を実施している。</p>	
2 活動状況等	<p>(1) 活動の動機・頻度</p> <p>① 活動を始めた動機及び開始年月</p> <p>校区内にある岸良海岸はウミガメが上陸・産卵する美しい砂浜で、子供たちにその素晴らしさを実感してもらうためPTAが中心となりウミガメの産卵観察会を平成9年に始めた。その後、平成11年から卵の保護・ふ化・放流体験という一連の活動を取り入れ、以来20年以上続いている。</p> <p>例年6月から砂浜での巡回活動を始め、上陸・産卵の確認後、採卵を行い学校の「ウミガメハウス」に埋め戻し、ウミガメがふ化するまでの間、継続して観察を行い、放流を行っている。</p>	
② 活動の愛称名があれば記入して下さい	ア 特色ある教科 「ウミガメ科」	イ 景観保全事業
③ 月間又は年間活動回数	<p>A ウミガメ巡回 2～4回</p> <p>B 採卵活動 2回</p> <p>C 観察記録 ふ化までの間</p> <p>D ウミガメ講演会 1回</p> <p>E ウミガメ科 通年 調べ学習等 20時間</p> <p>F 放流会 1～2回</p> <p>G 海岸清掃 2回</p> <p>H 岸良フェスタでの研究発表 1回</p>	<p>a もち米栽培による休耕田の活用 (田植え, 除草, 稲刈り, 脱穀など) 5～6回(4月～8月)</p> <p>b 地域住民との花植え交流 1回(11月)</p> <p>c 学校敷地内の樹木の樹名板の制作・設置(10月)</p>

項 目	活動内容等	
④ 活動のエリア ⑤ 活動1回当たりの平均参加者数 ⑥ 活動1回当たりの平均時間	岸良海岸 A 30人 2時間 B 35人 2時間 C 19人 5分 D 42人 2時間 E 19人 1～2時間 F 27人 40分 G 40人 2時間	岸良地域 a 20人 1～2時間 b 40人 1時間 c 30人 2時間
⑦ 収集ごみの処分	G 海岸清掃において漂着ごみを「燃やせるゴミ」, 「燃やせないゴミ(缶・瓶)」, 「プラスチックゴミ」 に分別収集後, 業者による回収	
(2) 活動の独創性 活動の特徴	ウミガメの保護活動を通して命や郷土の自然環境を大事にする心情を育てている。 P T Aや地域の支援のもと, 児童生徒を中心に取り組んでいる。	校区内及び学校の環境緑化に取り組み, 郷土愛・愛校心を育てている。 また, 地域住民との交流は地域の活性化, 学校の教育活動理解・啓発につながっている。
(3) 地域への貢献度	海岸清掃を地域住民と一緒にいき, 参加者の自然保護・環境美化に対する意識を高めている。	校内の花植えを通して, 地域の風景に季節感を与え, 美化意識を高めている。
① 地域の環境美化への貢献 ② 地域住民との協力活動	ウミガメ上陸の情報提供, 巡回活動, 採卵活動, 講演会, 放流会, 海岸清掃	田植え, 除草, 稲刈り, 脱穀, 花植え
③ 児童・生徒の活動に対する地域住民の反応	ウミガメの産卵シーズンに合わせ, 上陸情報の提供, 巡回活動へも参加するなど協力意識が高く, ふ化時期になると, ウミガメハウスの様子を見に来るなど関心を寄せている。 景観保全活動は地域団体の協力のもと活動できている。地域への還元としてもち米販売や花苗を提供しており, 楽しみにしている住民も多い。 令和3年度から, かがしま水族館と連携協定を結んでおり, 毎年4月に地域住民を交えた講演会・学習会を行っており, 地域にとっても貴重な学習の機会となっている。	

項 目	活動内容等
(4) 環境教育との関連 ① 環境教育と活動との結びつき	ウミガメ科の一連の活動は生物保護という側面だけでなく、郷土の自然保護意識を高める活動でもあり、身近なプラスチックゴミの問題を肌で感じることがができる。
② 活動開始後の児童・生徒の美化意識の変化	海岸清掃活動を通して、環境問題やゴミ問題に目を向ける機会となり、そのことをテーマに作文を書いたり、自由研究のテーマにしたりするなど環境保護に対する関心の高まりがあった。
③ 当該活動以外の環境教育実践活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 宇宙大豆の栽培・観察 ○ 森林教室（防災林の役割，森の役割を学ぶ） ○ 椎茸駒打ち体験 ○ 間伐材を使った木工製作
(5) 当該活動で他の表彰を受けたことがありますか	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第72回愛鳥週間全国野鳥保護のつどい 野生生物保護功労者表彰 「文部科学大臣賞」平成30年5月13日 (環境省及び公益財団法人日本鳥類保護連盟) ○ 令和2年度全日本学校関係緑化コンクール 学校環境緑化の部 「特選(文部科学大臣賞)」令和3年5月30日 (公益社団法人国土緑化推進機構)
(6) 校内外活動のための時間の作り方	○ ウミガメ科，総合的な学習の時間，生活科（前期），学級活動，創意，業間の時間，清掃時間
3 その他特記事項	<p>一昨年度はウミガメ科の活動の一つである，ふ化場の観察記録をもとに，ふ化に関する研究をかごしま水族館の協力のもと行い，その成果を「日本ウミガメ会議（主催：NPO法人日本ウミガメ協議会）」で発表（録画によるオンライン発表）し，自分たちの活動を発信することができた。</p> <p>今年度は，中種子町立岩岡小学校とのオンライン交流会を計画し，7月18日に第1回目を実施した。</p> <p>また，奄美海洋生物研究会会長と連携し，正しいウミガメ保護のあり方について助言をいただきながら研究を続けていく。</p>

別添資料

1 特色ある教科「ウミガメ科」の活動

<p><採卵活動></p> <p>採卵した卵をウミガメハウスに埋め戻す前に卵の個数、重さ、大きさなどを計測し、埋め戻している。</p> <p>また、砂浜での採卵時の穴の深さや直径を計測し、できるだけ砂浜に埋まっていた状態になるよう卵を順番に埋め戻すようにしている。</p> <p>地中温度計などを使用し、気温・地中温度や降水量などの詳細な記録測定も行っている。</p>	 <p>卵の大きさ・重さ計測</p>
<p><ウミガメ学習会></p> <p>かごしま水族館学芸員を講師にお招きし、ウミガメの生態、卵がふ化するまでの仕組み、昨年度の観察記録にもとづくふ化率向上について学習した。今年度の調査方法についても助言をいただき、自分たちの観察活動の参考としている。</p> <p>保護者・地域住民へも案内し、ウミガメ保護活動の啓発にもつながっている。</p>	
<p><調べ学習></p> <p>学年に応じたテーマを設定し、調べ学習を行っている。</p> <p>5年～9年生は調べた内容を発信する取組もあり、学習発表会やかごしま水族館で学習成果を発表した。</p> <p>ウミガメに関する様々な活動について、まとめ学習をすることを通して、生物保護・自然保護の意識が高まり郷土愛の醸成にもつながっている。</p>	 <p>かごしま水族館での発表</p>
<p><海岸清掃></p> <p>年2回（4月・10月）実施。約1.5キロある海岸線の中で、特に駐車場近くの一帯を保護者・地域住民と一緒にやっている。</p> <p>分別回収したゴミは関係機関を通じて業者回収されるが、大型の漂着物、近隣の外国からのゴミもあり、ゴミ問題を肌で感じる活動になっている。</p> <p>小さな活動だが、地域と一緒に取り組むことで地域との一体感を生んでいる。</p>	

別添資料

2 景観保全事業の活動

<p>< 休耕田の活用 ></p> <p>地域の休耕田を活用し、もち米栽培を実施している。田植え・除草作業・稲刈り・脱穀の作業を通して、職業観の醸成だけでなく、稲の成長や田んぼが作り出す地域の景観に関心を寄せる機会となっている。</p> <p>また、食に関する教育の一環として、もちつきも実施し、季節感を肌で感じる機会となっている。</p>	
<p>< グリーンカーテン設置 ></p> <p>給食時間に使用する ランチルーム南側の窓に設置、学校の緑化とランチルームの遮熱効果が期待できる。</p> <p>生徒たちが植えたニガウリの生長が確認しやすく、収穫する 喜びも体験できる。</p>	
<p>< 森林教室 ></p> <p>校区内の県有林作業現場を見学し、森林の果たす役割、木材の利活用方法について学習した。</p> <p>また、実際に林業の作業の様子を見学して、林業について理解を深め、職業観の醸成もできた。</p>	



松ヶ崎クリーン作戦に向けた話し合い

1 松ヶ崎クリーン作戦 (県下一周駅伝と同日)

自分たちが住む校区をきれいにしようと児童総会で話し合い、活動のめあてを立てて実行する活動である。道の駅周辺から鹿児島湾沿いの護岸道路、国道220号線沿いのゴミ拾いを中心に活動を行っている。児童総会の話し合いでは、「ゴミを、けがをしないで、協力して見落とさずにきれいにする。」という活動のめあてが立てられた。



道の駅周辺のゴミ拾い



護岸道路のゴミ拾い



分別後のゴミの量の測定

2 鹿児島湾沿いの護岸や国道沿いの清掃活動

朝のボランティア活動や清掃活動で、運動場及び国道、地区公民館周辺の護岸の清掃を実施している。国道については、通学路も兼ねているので、定期的に清掃をしている。護岸の清掃については、子供たちや職員だけでは作業が難しいこともあるので、地域の方々にPTA愛校作業等で協力をいただいている。



国道沿いの清掃

本校は少人数の学校だが、みんなで協力して清掃やボランティア活動を推進している。異年齢集団での活動で互いの思いやりや助け合いの気持ちを育み、達成感や成就感を味わうことで次への活動につなげていくことを大切にしている。

上学年を中心に上校庭に箒の目をつけている。上学年から下学年にやり方を教え、下学年は上学年の様子をしっかりと見て、確認しながらやり方を覚えていく。作業中、子供たちはおしゃべりをすることなく、集中して取り組んでいる。無言のうちに、「協力して、学校をきれいにしていこう。」という気持ちをみんなで共有することができている。この朝の活動が、心地よい一日のスタートにつながっている。



上校庭の清掃



3 PTA愛校作業

親子で毎年2回愛校作業を実施している。1年生から保護者と一緒に清掃活動に参加し、地域の方々と協力しながら、大人でも大変な作業をがんばることができている。



下校庭の草払いの様子



護岸土手の草払いの様子

4 PTA空き瓶回収

PTA空き瓶回収を年2回実施している。校区内2箇所に分かれて、道路沿いに出ているびんを保護者と子供たちが協力して回収している。多くの瓶を回収したり、びんの回収業者の方からこの瓶がどのように再利用されているかを聞いたりすることで、リサイクルの大切さや意義について実体験を通して学ぶことができている。



瓶を集める様子

この活動は、SDGsの学習につながると考え、教育課程の教科・領域の計画への横断的な位置付けを検討しているところである。

5 「みんなで学ぼうPTA体験学習」

～体験活動を通して、豊かな心を育むPTA活動の実践～

本年度、松ヶ崎小学校はP戸数5という少ない世帯数であるが、子供たちに多くの体験活動をさせ、豊かな心を育みたいというねらいで、PTA研修部が中心となって年間を通して餅米作りに取り組んでいる。田植え、草取り、稲刈り、はざかけ、脱穀と全ての作業を体験することを通して、「食べ物を大切に作る心」、「働くことの大切さ」、「収穫の喜び」、「生産者への感謝」等の気持ちを育てている活動である。



田植え



稲刈り



はざかけ



脱穀

6 ビワの栽培

本校では、校庭にあるビワ畑で年間を通してビワの栽培を行っている。ビワは、松ヶ崎地区の特産品として、多く栽培されている。

子供たちは、収穫して食すだけではなく、追肥や剪定、芽かき、摘果、袋掛け（霜対策用と防護用の2回）、畑の環境整備等の作業を、地域のゲストティーチャーの方に教えていただきながら全児童で行っている。

ビワ栽培を通して、松ヶ崎地区のよさ、収穫の喜びや自然環境への感謝の気持ちを実感することができている。また、ビワの枯れ葉は肥料になることを教えていただくことで、資源を有効に活用するという環境保全の仕組みについても学ぶことができている。

収穫したビワは地域婦人部の方々や保護者（家庭教育学級）の協力のもとに、ビワジャムや、ビワゼリーに加工する体験もしている。



7 花いっぱい栽培活動

本校では、朝のボランティア活動、グリーントimeショート（毎週水曜日朝の10分間）、グリーントimeロング（毎月1回、45分間）を中心に、栽培活動に取り組んでいる。

全児童、職員で学校園や学級園の植付けや草取り、水掛けはもちろん、土作りや黒ポット作り、花摘みや種取りなどの活動にも取り組むことで、植物を大切にすることや生育環境を整えること、みんなで協力して働くことなどを、体験を通して学ぶことができている。



定植

種取り

土作り

8 5S活動への取組

環境美化・環境保全の教育活動において本校では令和元年度から5S活動という取組を展開している。5S活動とは、整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとった言葉で児童及び職員全員で取り組んでいる。自分の身近なところから家庭・学校・地域への環境美化活動へと視野を広げられるように今後も5S活動を進めていきたい。

5S活動	
整理 SEIRI	・要るものと要らないものを分け、要らないものを捨てる
整頓 SEITON	・使いやすいようにきちんと置き、表示する
清掃 SEISO	・掃除をして、ゴミ・汚れのないきれいな状態にする
清潔 SEIKETSU	・整理・整頓・清掃の3Sを徹底し、維持する
躰 SETSUKE	・決められたことやルールを、いつも正しく守られたことを習慣付ける

5S活動掲示物

9 歩道橋清掃・歩道橋点検

松ヶ崎小学校から国道をつなぐ牛根麓の歩道橋の清掃をしている。子供たちは、全員、毎日この歩道橋を使って登下校している。また、大隅河川国道事務所から歩道橋点検隊にも任命されていて、修繕箇所等があるときは逐次職員に連絡して、事務所に報告している。(歩道橋清掃は年2回)



10 国道沿い（歩道橋入口側）の花植え

平成28年度の国土交通省と連携した横断歩道橋点検隊の任命式の際に作られた花壇に、毎年春と秋、花の苗を植えている。夏・秋にはマリーゴールド、サルビア、マツバボタン等、春にはリビングストーンデージー、ポピー、パンジー等が咲き誇り、児童や職員だけでなく、地域の方や近くを訪れる観光客を楽しませてくれる。

子供たちは、毎日の登下校時に花の成長を観察し、ボランティア活動の時間やグリーンタイムに草取りや水掛け等の世話をしている。

